

第46回 ニューロ・オンコロジーの会

当番世話人 東京大学医学部 脳神経外科
武笠 晃丈

主 題 1)脳腫瘍手術支援技術 ～基礎と臨床応用～
2)グリオーマの基礎研究と臨床応用
3)診断・治療に苦慮した症例、珍しい症例など

日 時 : 平成26年1月25日(土) 14:00～18:30

場 所 : 東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設(TWIns)2階ラウンジ

住 所 : 東京都新宿区若松町 2-2

当日連絡先 : 東京女子医科大学 03-3353-8111(代表)

プログラム

第Ⅰ部 診断・治療に苦慮した症例、珍しい症例など (発表6分、討論2分) 14:00～14:55

座 長 田中 将太 先生(東京大学医学部 脳神経外科)

- 1 長島 秀明 先生 (慶應義塾大学病院 脳神経外科)
『Bilingualの優位半球に生じたoligodendrogliomaに対しawake surgeryで言語障害を回避できた一例』
- 2 森谷 圭佑 先生 (東京女子医科大学 脳神経外科)
『腫瘍電場治療システム(novoTTF)を使用している再発悪性神経膠腫の一例』
- 3 宮本 伸哉 先生 (帝京大学ちば総合医療センター 脳神経外科)
『巨大側頭葉腫瘍の一例』
- 4 須田 智裕 先生 (東京医科大学 脳神経外科)
『術中大量出血を来した大型血管周皮腫の2例』
- 5 長谷川 祐三 先生 (千葉県がんセンター 脳神経外科)
『ギリアデル留置後の髄液循環障害を伴う遅発性髄膜炎』
- 6 駒山 徳明 先生 (東京女子医科大学 麻酔科)
『睡眠時無呼吸症候群を合併した肥満患者に対する覚醒下開頭手術の周術期管理経験』
- 7 丹下 祐一 先生 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科)
『術前にgliomaとの鑑別が必要であった髄膜腫症例』

= Coffee Break =
5分

第Ⅱ部 グリオーマの基礎研究と臨床応用

(発表7分、討論3分)15:00～15:30

座長 高柳 俊作 先生(東京大学医学部 脳神経外科)

- 1 武笠 晃丈 先生 (東京大学医学部 脳神経外科)
『成人視床グリオーマにおけるヒストン遺伝子H3F3AK27M変異』
- 2 新田 雅之 先生 (東京女子医科大学 脳神経外科)
『低悪性度神経膠腫における遺伝子異常を中心とした予後予測因子の検討』
- 3 齋藤 紀彦 先生 (東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科)
『グリオーマ幹細胞をターゲットとした新規分子標的治療の研究:臨床応用への可能性を探る』

= Coffee Break =
10分

第Ⅲ部

特別講演Ⅰ

15:40～16:40

座長 武笠 晃丈 先生(東京大学医学部 脳神経外科)

『悪性脳腫瘍に対する光線力学的治療:その発想から保険収載、そしてこれから』

東京医科大学 脳神経外科学 准教授 秋元 治朗 先生

= Coffee Break =
5分

特別講演Ⅱ

16:45～17:45

座長 武笠 晃丈 先生(東京大学医学部 脳神経外科)

『術中迅速がんイメージングを目指した小分子蛍光プローブの精密開発』

東京大学大学院医学系研究科 生体情報学分野

教授 浦野 泰照 先生

= Coffee Break =
5分

第Ⅳ部 脳腫瘍手術支援技術

(発表7分 討論3分) 17:50~18:30

座長 齊藤 邦昭 先生(東京大学医学部 脳神経外科)

- 1 成田 善孝 先生 (国立がん研究センター 脳脊髄腫瘍科)
『悪性リンパ腫・炎症性脳疾患における5-ALA/PpIX陽性率について』
- 2 齊藤 邦昭 先生 (東京大学医学部 脳神経外科)
『トラクトグラフィの基礎と脳腫瘍手術への応用』
- 3 野本 淳 先生 (東邦大学医学部医学科 脳神経外科学講座・大森)
『高精細な3次元合成画像の作成に関する研究』
- 4 増田 洋亮 先生 (筑波大学 医学医療系 脳神経外科)
『術中MRIを用いた摘出度判定の有用点と注意点:早期術後MRIとの比較』



都営地下鉄大江戸線 若松河田駅下車、徒歩5分
牛込柳町駅下車、徒歩5分

*参加費として、受付で2,000円頂きます

*ご参加の先生方は、日本脳神経外科専門医クレジット
(3点)を取得できます

*本会におきましては、規則により弊社による旅費の負担が
できませんことをご了承下さい。

*本会終了後、意見交換会をご予定しております。

共催：ニューロ・オンコロジーの会
MSD株式会社